

# 岩手郡医報

平成4年3月 №36

編集 発行

岩手郡医師会

題字 霧石町高橋孝先生



'92ワールドカップ 盛岡・霧石大会スーパー大回転

3月1日、朝から青空が広がり絶好のスキー日和。14ヶ国より66人の精鋭が集合。コース沿いの2万6千人を超す観客は矢のように滑り抜ける世界のトップスキーヤーの極限の滑りに魅了された。写真はスタート地点でのジャンピングスタート。

来年はこのスキー場でアルペンスキー世界選手権大会が開催される。 (上原 記)

(写真は霧石町役場 米沢一好さん撮影)

'92W杯 盛岡・霧石大会	1
岩手郡医師会臨時総会	2
会長挨拶	2
部会報告	3～5
平成4年度事業計画	5
平成4年度一般会計予算	5～6
平成4年度休祭日当番医予算	7
役員改選	8
第8回県医師会親睦スキー大会	8～10
平成3年度県民健康講座(葛巻町)	10
おらほの先生「坂井医院」	11
随想「電話」	高橋 孝 12
随想「プロ野球談義」	鳴 信 13～15
郡医師会役員会(職務分担)	16
編集後記	16



## 岩手郡医師会臨時総会

日 時：平成4年2月8日(土)PM3:30～  
場 所：盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡  
司 会 及 川 忠 人

### 次 第

1. 開会のことば(佐藤副会長)
2. 会長挨拶
3. 各部会からの報告
4. 出席会員資格確認
5. 議事
- 1) 平成4年度岩手郡医師会事業計画(案)について

### [ 2 ] 会長挨拶

岩手郡医師会会長 高橋牧之介

遅ればせながら新年あけましておめでとうございます。

先生方にはご家族お揃いでさわやかな新年を迎えたことと思います。

顧みると、平成3年はまさに激動の年であり歴史的出来事が次々とおこり、めまぐるしい動乱の年でした。政界にあっては、海内閣の総辞職、宮沢内閣の誕生と政権交代があり日本の内政、外交危機に瀕した年、動乱と政変にあけくれた年でした。

最近の政界、財界、官界の堕落はあきれ果てたもので、目に余るものがあります。

今はじまったことではないが、金を持つと、すぐ使うことしか知らないのが官界の体質です。蓄えるとか、他に回転させるとかして、

- 2) 平成4年度岩手郡医師会一般会計予算(案)について
- 3) 平成4年度岩手郡医師会休祭日当番医予算(案)について
- 4) 任期満了による役員の改選について
- 5) その他
6. 閉会のことば(上田副会長)
7. 新年交賀・懇親会

国のために、社会のために役立てることを全く知らない。厚生省もしかり、岩手の企業局の不祥事とてしかりです。(内容省略)

地球サミット、自然環境の保全ばかりでなく、わが身辺の清浄化を、政・財界はもとより、厚生省も、医師会も地域住民の医療福祉を考えるうえでも、根本から考えるべきことではないかと考えます。

今なんと言っても、一番の関心事は4月1日からの診療報酬改定であります。(内容省略)現在、継続審議となっている医療法の一部を改正する法律案についてでありますが、廃案の下馬評が高かったのが動きだし、順調にいけば通常国会の会期中に、4月以降の成立が濃厚です。このことについては、先

ごろ1月26日の社会保険指導者講習会で「わが国の医療需給の動向－医療法改正にむけて」と題し、統計資料を追いながら報告しましたが、医療需給の動向には、医療環境の変化に対応していく積極的姿勢が強調されなければならない。（内容省略）

診療報酬をめぐるもう一つの重要な問題は、平成2年の夏ごろから体系を抜本改革に見直すべきという話が出はじめ、中医協でも、その重要性を認識し、小委員会で精力的に審議されているわけです。

現在の診療報酬点数表は、昭和33年にその根本が定められ、それから33年も経ったものなのです。21世紀に向け、これから何十年もの体系を決めなければならないのです。10位の問題点を指摘、整理されるのではないかと言われております。（内容省略）

今の医療制度をみると、30年前の社会構造、それに対応するスタンスをそのまま

まひきづってきている。各方面から指摘されているように、例えば老人保健問題一つをとっても、早晚行き詰まりをみることは明らかで、基本から構造改革を行わなければならぬと考えます。改革は時間を要します。だからこそ勇気を出して早く立ち上がりなければならないと思います。

私たちは、今年こそ医療構造改革元年を掲唱しましょう。

本日は、これから平成4年度の事業計画と一般会計、休祭日当番医予算の案を審議していただきその他任期満了に伴う役員の改選を行いますのでよろしくお願ひ致します。新鮮な執行部のもと、情報システム化の進む医師会活動の中で、会員相互の医療連携は勿論のこと、病診連携など各種検診事業、生涯教育、その他地域医療の充実、情報伝達、会員相互の交流に一致団結して資したいと思いますのでよろしくご協力の程お願い致します。

### [3]各部会からの報告

#### ◆ 学校医部会

高橋 孝 副会長

各町村学校保健会の集まりには、地域の先生たち一人一人に参加をお願いし、検討会に加わるよう各町村の担当者に依頼していますので医師会員の先生方は積極的に参加されて、検診結果の分析などに協力していただきたい。検尿については全学年が実施することになります。盛岡市上田公民館で開催されます郡学校保健会は、2月22日(土)の予定です。出来るだけ参加していただきたい。

岩手郡	1.小1・中1・高1の循環器調査（継続） 2.貧血検診の推進（継続） 3.町村毎の学校長、保健主事、養護教諭、学校医との学校保健懇談会の開催（継続） 4.岩手郡学校保健会設立に伴い各町村教育委員会、市町村学校保健会との合同での学校保健事業の推進（継続） 5.市町村ごとに小児成人病検診と予防活動の推進（継続）
-----	--

#### 平成4年度学校検診予定対象学年

	平石町	安代町	流沢村	松尾村	西根町	葛巣町	岩手町	玉山村
心電図	小1.5.6 中1.2.3	小1.4 中1	小1 中1	小1.4 中1	小1.4 中1	小1 中1	小1.4 中1	小1.4 中1
貧血検査	小5.6 中2.3	小5.6 中2.3		小6 中1.2	小5.6 中1.3	小4.5.6 中全員	小4.5.6 中全員	小4.5.6 中全員
成人病検査	小4 中1	小4 中1	中1	小4.5.6 中全員	中1		小4 中1	小4 中1
血糖	小4 中1						小4 中1	
脊柱側弯症 (モアレ等)	小5.6 中1				小5 中1			小5.6 中1
尿検査	小1.2.3 中2.3	5.6 中2.3	全員	全員	全員	全員	全員	全員

#### ◆ 産業医部会

西島康之 理事

平成4年1月18日(土)午後3時より岩手県医師会館において幹事会及び部会と関係機関（岩手労働基準局、岩手労働基準協会、岩手県予防医学協会）との打合せ会が行われた。幹事会では、

- ①平成3年11月16日に行われた総会並びに講習会。

②東北ブロック、産業医基本研究会、生涯研修会。

③認定産業医の認定状況について報告がありました。

引き続き協議に入り主として平成4年度認定産業医研修について話し合われた。

又、打合せ会では、野沢英児岩手県労働基準局安全衛生課長から職場における健康診断の適正な実施と働く人々の健やかな生活の確保を図るため「中小企業における健康診断の実施促進を重点に職場における健康診断推進運動」を開催していますので、よろしくというあいさつがあり、それについて岩手県医師会産業医部会と関係機関とで活発な意見交換があり有意義な会合であった。

尚、東北ブロック産業医基本研修会、生涯研修会は、ご存じの通り2月8日と9日県医師会館で行われています。これは認定更新のためのものであり、13単位付与されます。多数参加されることをお願いします。

#### ◆ 健康教育委員会

八角正司 理事

現在1月16日からの第1回目の県民健康講座より葛巻町で開催中であり、2月13日に終了予定である。

#### ◆ 生涯教育委員会

上田靖彦 副会長

皆さんに年間50時間ということでハガキを出していただいている。例えば明日(2月9日)の産業医の会合に出席すれば10数時間となるなど。今年度からは、約10時間位は日本医師会のカリキュラムに沿ったものを受講していただきたい。出席したときは受講証を必ずもらおいてほしい。社会保険指導者講習会や産業医講習会などに出席したときはかりの受講時間となりますので、積極的に参加していただきたい。

また2月21日に県立中央病院で行われます生

涯教育臨床講座には、今回西根病院の宇部先生より症例提示がありますので専って参加して下さい。

毎月提出するハガキについては遅くなてもいいですから郡医師会長宛提出して下さい。

#### ◆ お知らせ

高橋(牧) 会長

#### ○平成3年度第2回生涯教育臨床講座

日時:平成4年2月21日PM6:30~

場所:県立中央病院4階大ホール

#### 演題プログラム

座長 岩手県立中央病院消内 小岡文志

##### 1 局所切除術を施行した早期直腸癌の一例

初診医 紫波郡医師会 足澤輝夫  
担当医 盛岡赤十字病院外科 加藤典博  
指定発言 岩手医大一外講師 吉田 博

座長 盛岡赤十字病院内科 木村秀孝

##### 2 脊髄横断症状と急性腎不全を呈した不明熱の一例

初診医 岩手郡医師会 宇部健治  
担当医 岩手県立中央病院二内 濑川郁雄  
" " 神内 下村辰雄  
担当医 岩手県立中央病院病理 富地信和  
指定発言 岩手医大神経内科講師 佐野光彦

座長 岩手県立中央病院消外 佐々木 崇

##### 3 重複腸管に発生したと思われる結腸癌の一例

初診医 盛岡市医師会 奥田則雄  
担当医 盛岡市立病院外科 引地 獻  
指定発言 " 外科長 及川 司

#### ○平成3年度岩手郡学校保健安全給食研究大会

日 時:平成4年2月22日PM2:00~

場 所:盛岡市上田公民館ホール

内容:

発表西根町学校保健会

「食事で決まる心と体」

松尾村学校保健会

「う歯予防活動に取り組んで」

講義西根病院長 上田靖彦先生

つなぎ歯科医院長 鈴木哲男先生  
研究討議 座談会  
○結核医療医師研修会  
日時:平成4年2月27日PM6:00～  
場所:岩手県医師会館大ホール

内容:  
「岩手県内の結核の動向」  
県環境保健部保健予防課 六本木義光 氏  
「小児結核の今昔」  
東北大名誉教授 新津泰孝 先生

#### [4]出席会員資格確認

出席者30名、委任状提出23名合計53名となり全会員の過半数に達しており総会は成立します。

#### [5]議 事

##### 1) 平成4年度岩手郡医師会事業計画(案)について

21世紀に向けた医学医療の動向は、余りにも急激な進歩に倫理や思想がついて行けないという率直な不安が残る。

平成4年を迎え、厚生施策は医療法改正による、新しい保健医療計画の在り方、高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略の実施と国民健康保険法の改正、老人保健法の改正等医療保障を左右する重要関連法の改正が予想される。

現在わが国は世界一の長寿社会となり、保健・医療・福祉の総合的展開を図るべく国民医療体制の創造に向かい進んでいます。

このことは医師会が当面する大きな課題であり、諸施策が縦割り行政の独り歩きにならぬよう積極的提言を行い、医師会主導を確立しなければならない。そのためにも医の大義を守り、保健事業及び包括的地域医療の推進を図り、地域社会と相互理解、連携の確立に努力するものとする。

次の事項を重点事項とする。

- 1、医の倫理の高揚と医療秩序の確立
- 2、県医師会の事業への全面協力
- 3、有効なる地域医療活動の展開
- 4、会員福祉制度の充実
- 5、保険医療の適正化
- 6、生涯教育の推進
- 7、医業経営改善と安定への努力
- 8、地域住民健康教育の充実
- 9、広報の積極的展開
- 10、医事紛争防止への対策強化

##### 2) 平成4年度岩手郡医師会一般会計予算(案)について

1. 収入の部		自 平成4年4月1日 至 平成5年3月31日	社団法人 岩手郡医師会 ・単位:円
科 目	金 額	摘要	要
繰 越 金 会 費	1,735,000 4,440,000	前年度より繰越 A 会員 ..... 3,705,000 (@ 95,000×39人) B 会員 ..... 735,000 (@ 35,000×21人)	
補 助 金	85,000	地域医療 ..... 30,000 学校医 ..... 55,000	
雜 収 入	70,000	預金利息 ..... .....	
合 計	6,330,000		

## 《2. 支出の部》

単位：円

科 目	金 額	摘要			要
〔事 業 費〕	( 5,650,000)				
会 議 費	2,000,000	総 会	2回	1,000,000	
		理 事 会	7回	700,000	
		役 員 会	2回	200,000	
		県医總会費	1回	100,000	
生 涯 教 育 費	850,000	医学講演会・懇談会		500,000	
		学校医研修会		100,000	
		ス ポ ーツ 医 学 研 修 会		100,000	
		生 涯 教 育 連 絡 会		100,000	
		そ の 他		50,000	
地 域 保 健	400,000	各町村の地域保健懇談会		300,000	
		他都市との懇談会		100,000	
広 報 発 行 費	600,000	印 刷 費	6回	400,000	
		発 送 費	6回	70,000	
		編集会議費		70,000	
		雜 費		60,000	
旅 費 交 通 費	350,000				
交 際 費	1,000,000				
慶弔見舞金	200,000				
広 告 費	100,000				
雜 費	100,000				
予 備 費	50,000				
〔事 務 費〕	(680,000)				
事 務 費	680,000	事 務 連 絡 費		80,000	
		通 信 費		100,000	
		消 耗 品 費		120,000	
		印 刷 費		80,000	
		リ ー ス 料		120,000	
		事 務 处 理 費		120,000	
		雜 費		60,000	
合 计	6,330,000				

## 3) 平成4年度岩手郡医師会休祭日当番医予算(案)について

自 平成4年4月1日  
至 平成5年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

## 《1. 収入の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
繰 越 金	920,000	前年度より繰越
補 助 金	3,600,000	
雜 収 入	10,000	預金利息
合 計	4,530,000	

## 《2. 支出の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
報 償 費	3,580,000	健康教育費 1,280,000 (@20,000×64人) 救急対策費 350,000 県医野球大会 500,000 県医ゴルフ大会 200,000 県医海釣り大会 20,000 県医スキー大会 20,000 県医園芸大会 10,000 郡学校保健会 300,000 講演会・合同研修費 600,000 厚生対策費 300,000
需 要 費	350,000	会議費 3回 300,000 通信費・消耗品費 50,000
旅 費 交 通 費	350,000	
役 務 費	100,000	印 刷 費 60,000 通信電話料 40,000
予 備 費	150,000	
合 計	4,530,000	

## 4) 任期満了による役員の改選について



再選の高橋牧之介会長

始めに選考方法について議長より提案があり、選考委員を各町村より内科系から5人、外科系から5人(前副会長も含めて)が選出され、その結果下記のように選

任された。(敬称略)

[会長]……高橋牧之介(再)

[副会長]……佐藤郁郎(再)上田靖彦(再)高橋孝(再)

[理事]……八角正司(再)根本忠夫(再)西島康之(再)坂井博毅(再)嶋信(再)上原充郎(再)篠村達雅(新)及川忠人(再)岡本彰(新)

[鑑事]……和田栄吉(新)佐々木久夫(再)高橋克郎(新)

## 5) その他

県医師会も会長、副会長など改選期となりますが、この総会の席上、高橋牧之介郡医師会長は県医師会副会長に立候補することを表明しました。拍手多数で郡医師会としては推薦することになりました。

このあとホテルメトロポリタン盛岡内の別会場にて会員の新年交賀、懇親会が行われた。

## 第8回岩手県医師会親睦スキー大会

八幡平リゾートスキー場にて開催

担当 岩手郡医師会

日時 平成4年1月19日(日)



少年の部第1位上原孝善くん(左)と第2位嶋淳くん(右)

## &lt;開催までの経緯&gt;

平成4年1月18日、即ち今回の県医師会親睦スキー大会の前日は、夜半から朝方にかけて新雪が降った。そのために遠方からの申し込み(久慈方面、水沢方面からの参加)予定者は、開会式に到着できず(?)欠席となった。

一昨年の暮、スキー大会の担当の話があった

とき準備期間中は積雪がなく、やむなく中止となり今回の開催となったわけですが、会場の選定には今までの岩手山の反対側、即ち八幡平側ではどうだろうと打診されました。早速岩手郡内数あるスキー場の中から八幡平リゾートスキー場と折衝したのが平成3年7月でした。心よく相談に応じてくれ、数回の交渉



熟年の部 第3位入賞の  
坂井博毅選手のスタート

の結果、1月中の開催日として1月19日、1月26日など候補としてあがったのでしたが、スキー場側としてもイベントが予定されていることなどで、結局1月19日の開催となった。ところがこの日は県医師会の学校医大会の開催日と重なってしまい、そのために県医師会関係者の参加も懸念された。

雪の課題が最大の心配事であったが、今シーズンは12月初旬に一気にスキー可能な程積雪があり、スキーシーズン突入となりこれでスキーフェスティバルも可能と一安心していたが、途中心配された雨が降ったりして、クリスマスの頃は滑走不可能にまでなったが、暮れに再び積雪があり関係者一同安心した次第です。過去7回のスキー大会でも5回は平石町で開催されており、八幡平リゾートスキー場はベテランスキーヤーにはスロープそのものが物足りない面もあり、不満もあることでしょうが小中学生、女性も参加してのこの親睦スキー大会に面じてお許しをいただきたい。

#### <大会運営要項>

- 1、日時: 平成4年1月19日(日)
- 2、場所: 松尾村 八幡平リゾートスキー場
- 3、開会式: 八幡平リゾートスキー場 レストラン「せきれい」

イ、開会宣言 小笠原県医常任理事  
ロ、大会実行委員長挨拶 高橋郡医会長  
ハ、大会競技委員長 競技説明 嶋郡医理事  
ニ、審判長注意 畠山庄五郎氏(スキー場)  
ホ、選手宣言 斎藤さやかさん  
ヘ、諸事連絡

#### 4、競技開始

午前10時よりカラマツコース(第二ペアリフト乗り場付近)

#### 5、競技内容

参加者は各部門毎、旗門設定による大回転タイムレースとする。

- (1)各自2回滑りタイムの良い方を記録する。
- (2)2回共棄権、旗門不通過は失格となる。
- (3)午前10時よりプログラムスタートリストの通り出発する。
- (4)1回目滑り終わった人は、直ちにリフトを利用してカラマツコーススタート付近に集合すること。

#### <競技>

今回初めてデュアルレース(二人で同時にスタートし、赤旗門、青旗門をそれぞれ1回づつ2回滑り、タイムのよい方を記録とする方法を採用)として大回転競技を行ったが、赤コース、青コースとも微妙に違うようで、1回目より2回目に好タイムを出した方が殆どであり、1回目の滑走で幾分緊張していたものが次には十分リラックスできた結果ではないかと考えられる。

#### <表彰式・閉会式・懇親会>

於 八幡平高原莊  
デュアルレースのため早目に競技が終了し、早速八幡平高原莊に場所を移して、表彰式、閉会式、懇親会が行われた。

- (イ)大会会長挨拶 石川県医副会長
- (ロ)入賞者発表、表彰 小笠原県医常任理事
- (ハ)競技講評 畠山庄五郎氏(パトロール隊)
- (ニ)閉会宣言 小笠原県医常任理事

(ホ)懇親会・担当医師会長挨拶 高橋郡医会長  
 <競技成績> (岩手郡出場選手のみ)

- ・**老年の部 (50~59才まで)**  
坂井博毅 35"50 (第3位)
- ・**成年の部 (40~49才まで)**  
土井尻健一 36"28
- ・**レディースの部 (小・中・高校生の女子及び主婦)**  
上原はるな 32"52 (第1位)  
上原千鶴子 38"51 (第2位)  
土井尻はるみ 40"22  
土井尻みづほ 43"11

#### ・少年の部 (小・中学生男子)

上原孝善	31"42	(第1位)
嶋 淳	33"13	(第2位)
土井尻遼介	38"06	

尚、詳細は「いわて医報」No.489、2月号を参考して下さい。



県民健康講座（葛巻会場）における健康相談会

### 平成3年度 県民健康講座開催（葛巻町会場）

葛巻町 佐藤 郁郎

平成3年度県民健康講座は1月16日から4回にわたり葛巻町総合センターで行われました。葛巻町での実施は3回目になります。

講師は岩手保健所一ノ渡所長、同保健所沢口栄養士のご協力と、町内の医師、歯科医師、薬剤師の会員参加と致しました。

冬季でもあり、極寒や、吹雪等を心配しましたが比較的天候にめぐまれ受講者数もまずまずでした。受講者数は延404人、毎回約100人の参加がありました。男性24人16.6%、女性121人83.4%で、50~60才代が殆どで30~40才代が11%でした。これも葛巻町の人口構成、日常の労働条件によるものかと思われますが、今少し若い年齢層の参加が欲しいところでした。

講座も3回目となれば各講師も少し慣れてきた様で、各講師の個性と、ユーモアを混じえた講義で、和やかにスムースに行わ

れました。今回葛巻町として初めて閉講式の前に全講師と受講者全員による健康相談会を行いました。初めてのことでの発言等心配致しましたが、保健センター事務局長の名司会で、伸び伸び笑いのうちに活発な発言もあり成功裡に終了致しました。

閉講式には高橋（牧）郡医師会長、高橋（孝）副会長、八角担当理事の御出席を頂きましたが、遠路のご来町悦しく存じました。

閉講式終了後、郡医師会の3先生、保健所各位、保健センター職員会員で葛巻の某高級料亭で反省会を行い、元気の良くなったところで階下にあるカラオケスナックで各自慢ののどを披露し楽しいひと時を過ごしました。

終わりにこの県民健康講座に終始、御協力頂きました岩手保健所、町保健センター各位に心から御礼申し上げます。

## あらほの先生

岩手町 坂井医院の巻

まずは院長のプロフィール

- ・出身地 北海道
- ・出身大学 岩手医科大学
- ・趣味 ゴルフ、テニス、英会話、
- ・血液型 B型
- ・生年月日 昭和11年6月27日丙子年生
- ・身長 178cm
- ・体重 73kg

院長のモットーは「よく働き、よく遊べ」一見ゆったりしていますが<体格>、何かしていないと落ち着きません<ネズミ年>。

良いアイディアが浮かぶと直ぐに実行<B型>。納得のいくまで粘り強くガンバります。<北国育ち>。その影響が奥さんと職員へ。あちこちで溜め息が聞こえますが、当院の標語は「和顔愛語」常に笑顔で優しく振る舞っています？！

ここである冬の晴れた寒い日の院長の生活を紹介します。

①AM6:00 起床



②AM6:30 町内のゴルフ練習場へ



③AM8:00 朝食



④AM9:00 診療開始



⑤PM1:00 昼食



⑥PM1:30 母親学級



⑦PM2:30 午後の診療開始 ⑧PM4:30 入院患者回診



⑨PM5:30 患者さん話し暇！

英会話の勉強



⑩PM6:30 夕食



⑪PM7:00～PM9:00 テニス教室のコーチ

若い女性を相手にうれしそう  
(ただし、奥さん同伴)



⑫突然、ブザーが2回！  
お産の合図です  
「今、何時？」



⑬PM9:30 お風呂

就寝時間はわかりません



とにかく忙しい毎日です。電子手帳もスケジュールで一杯ですが、それを見る余裕がありません！ つい先日も、岩手郡医師会の総会を忘れ、会長さんのお叱りを受けました。(職員からの弁明 風邪をひきダウンしました。会長さんお許しください。)

欠点だけを書いた様になりましたが、最後に、毎年職員への心温まる誕生日プレゼントありがとうございます。

これからも健康で標語のような医療作りにガンバって下さい。職員一同応援します。

## 隨 想

電

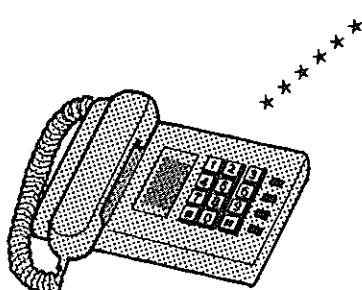
話

零石町 高 橋 孝

平成3年の零石町内の医師、歯科医師の忘年会の席で、高橋教育長が、「君の名は」のカラオケを上手に歌い参会の皆さんから拍手をあびていた。NHKのテレビ小説で、「君の名は」のリバイバルが放映されているが、ある日、朝診察前にポンヤリとそのテレビを見ていたら、ヒロイン真知子が、電話をかけるシーンがあり電話器は昔の箱型のもので、話し終えて、受話器をカチャンと掛けてそのまま終わった。その時、オヤ！と思った。戦争当時も、又戦後「君の名は」をラジオが放送していた当時も、小生の家には電話はなかったが、電話を村長の家でしばしば借りてかけた記憶がある。

当時の電話は、話し終わるとハンドルを廻して話の終わったことを交換手に合図をしたように思う。「君の名は」のそのシーンの時代設定からするとやはり、終わりの合図をするのでは？と思い、NTTに聞いてみた。当時の電話器は磁石式で、明治41年1月16日から昭和22年まで使用されていて、やはりハンドルを廻して交換手に話の終わりを合図したことであった。今NTTでは広告等でも見るように電話のかけ方、内容等に色々面白いネーミングをして、カエルコール、タビタビコール、セーフテーコール、パジャマコール等々で、セーフテーコールは、タビタビコールと同じで、旅行に出て旅先から無事についた事を家族等に知せる電話で、又、パジャマコールは深夜の割引料金でかけられる電話のことである。今は昔と違い電話もどこにでもあり、自動車電話、携帯電話と、お持ちの先生も居りますが、非常に便利で小生も恩恵達に、カ

エルコール、セーフテーコールをするように言いうさがられている。子供達が車ででかけると、自分が車の免許を持っていないためか、帰るまで事故が心配で、このストレスは計り知れないものがある。「無事ついたヨ」とか「今から帰るヨ」の電話をもらうと着いたことの安心と、又同じ待つにも心が休まるよう思う。因みに小生は車の免許を持っていないが、年令別免許取得の人口比を岩手県警に聞いてみた。一番多いのは、25才～29才までの人が95.2%であり、次いで20才～24才までが92.7%、30才～34才が91.6%でそれ以降は年が多くなるにつれて、保有所得が少くなり、最も少るのは勿論70才以上の人で10.6%であった。小生の年代55才～59才では47.5%であった。「先生、車を買って税金を払って、ガソリン代を払ってダバ、タクシーの方がズット安くて、乗りタデサレネチエ」又「これから免許をとると悪い人を乗せて歩くようになるゾ」と人が言うのをポンヤリと聞きながら、タクシーを使っているが、山に行ったり、又川に行くのにタクシーを使うわけにも行かず、又欲しいが、悪い人もいないし、残る人生を車なしで不便に暮らすことになりそうだ。



## 隨 想



## プロ野球談義

西根町 嶋

信

或る日訪れたプロパーTさん（薬メーカーの営業マン）との野球に関する話題に話がはずんだ。ちょっと総めてみると

S：「あなたの出身地はどこ？」

T：「長野県松本市です。」

S：「長野県といえば、今度冬季オリンピック（1998年）を迎えるわけだが、松本市の場合は何か競技会場の候補地となっているの？」

T：「松本は全然関係ないですよ。喜んでいるのは長野市と周辺の志賀高原付近だけですから。松本といえば野球の盛んなところで、松商学園高校が県内では強く、1991年夏の甲子園では上田佳範投手（地元松本出身、最近私立高校では他県からの留学生が多い中、彼は地元出身です。1991年11月のドラフト第1位で、期待されてプロ野球日本ハムファイターズへ入団した選手で、背番号⑫）を擁して準優勝した。地元ではすごい人気者で、また地元の新聞では大きく特集カラーページで取り上げて期待しているんです。今後どんな投手に育っていくか楽しみです。打者としても高校時代は4番を打っていました。彼の入った日本ハムは、今年は投手出身の土橋正幸氏（元東映フライヤーズ投手、元⑪）を新監督に迎えて、西崎幸広投手⑫、柴田保光投手⑬、松浦宏明投手⑭、酒井光次郎投手⑮などの各投手陣に抑えの切札、武田一浩投手（元⑯→今シーズンより⑭）もいるし結構投手陣は安定しているんじゃないですか。」

S：「これに若手のイキのいいのが加わって

くればしめたものだが……二年目の天理高校出身、夏の甲子園大会優勝投手の南竜次投手⑰は、1.92mの身長より投げる速球は先発又は抑えとして大いに期待されている選手で… …でも打線がマイチで、特に外国人選手にたより切っている部分が大であり、ヒョーキン者のM、ウィンタース⑪は昨年並かそれ以上を期待したいし、二年目のB、ペイス⑫はあまりたよりにならないが、今年は大分日本のプロ野球にも慣れてきたことだし、今年1年大いに頑張ってもらいたいものだ。また今年入団した三人目の外国人選手、元大リーガーM、マーシャル⑬は、大きいもの（ホームラン）が期待できそうな選手で、待望の選手だが問題児（トラブルメーカーの噂あり）でもあるそうだ。日ハムについていえば、前身の東映フライヤーズ時代からのファンなんだけど、最近岩手県営球場に夏になると公式戦としてやってくるようになって毎年楽しみにしている一人だが、昨年もロッテオリオンズ（現千葉ロッテマリーンズ）との対戦を観戦に球場へ行ってみたが、ここで見た限りでは、外国人ウィンタースは確実性のあるバッティングをしているように見受けたが、もう一人のペイスは振りがにぶく、荒けずりの感があり、日本のストライク、ボールの判定にまだとまどいがあり、チャンスに弱い打者でもあるためあまり多くを期待できないように感じた。野手では大島康徳選手⑭、（41才）とか超ベテランがいるかと思えば打線のうちでも6~9番までが弱く、あまりたよりないのが何

とも歯痒い気がしてならない。上位に停滞するにはこの辺のテコ入れが最重要課題と思われる。また気になることは捕手の田村藤夫選手⑫は、打者としてもパリーグを代表する捕手の一人に育ったが、何せケガの多い捕手なので、万が一彼がケガをしたとき彼に変わる選手、即ち二番手捕手がこれといってないのがこのチームの悩み何だよネ。野手全般にもいえることだが、控え層が極端に落ちるチームは仲々長いシーズンペナントレースを戦うのに上位に勝ち残るのは困難なのではないかな。」

S：「ところでどこのチームのファンなの」  
T：「ヤクルトスワローズです。今年は期待しているんですヨ。故障していた伊東昭光投手⑬や高野光投手⑭の復活がカギでしょう。待望久しい甲子園のアイドルだった荒木大輔投手⑮は今年はどんなものかな。久々に雄姿を見たいものだネ。ここは投手陣に若い人が多く、ベテランでもこれといってローションの軸となる人がいないので困るんですよ。尾花高夫投手元⑯も昨シーズン限りで引退してしまったし、中継ぎでもベテランの中本茂樹投手⑰、金沢次男投手⑪などが短いイニングをきっちりと抑え切れると試合も面白くなるんだが、後半若い池山隆寛選手（元⑯→今シーズンより①）や広沢克巳選手⑧等の一発に期待して逆転勝利もある得るわけだから・・・

S：「今年は元巨人、前日本ハムの角盈男投手⑩もトレードで入団したので、これは以外と面白い存在かもしれませんね。彼のように再び元の同僚と対戦するという機会はあまり多いものではないだろうけど、仲々対決する場合投げにくいものだろうネ。でも当時のレギュラー選手というのもあまり多くないはずだし、気にはならないものでしょうが、気にしていたらプロの投手失格だろうネ。以外と

ジャイアンツキラーになるかもしれませんネ。ヤクルトの前評判はかなりのものであり、今年は期待しているんだが・・・でもここも外国人選手には失敗している例が多く、あまり多くを望めないのが現状と思う。」

S：「そういえば今度日ハムの監督となった土橋監督は、以前にヤクルトスワローズの投手コーチ、シーズン途中からヤクルト監督を努めたことがある（1984～1986年まで）のを知っている？」

T：「ああーありましたネ。あの当時も仲々上位へ浮上できないチームでした。結局シーズン終了してみればBクラスというところでした。」

S：「松商学園は野球ではかなり古く、名の知れた学校だが、プロ野球選手では最近どんな人が出ているの。？」

T：「昨年までヤクルトの投手をしていた川村一明投手元⑯がいます。この選手は高校卒業のとき阪急ブレーブス（現オリックスブルーウェーブ）にドラフト指名された人だが、このときは拒否して社会人の強豪チーム、プリンスホテルに入った。ここで数年活躍した後、ドラフト4位でプロ野球西武ライオンズに入団。無理がたたって肩を壊してしまい、二軍でくすぶっていたが1990年シーズン中にヤクルトスワローズにトレードされ、昨年（1991年）ヤクルトの一軍で数試合登板し3勝した。その他は日体大とか亞細亞大などに入って大学野球界で活躍した選手もいる。でも知り合いの人で、大学の練習が厳しく、練習について行けず、思い悩んでノイローゼとなって野球を止めて、同時に大学も止めて実家に帰ったという人もいる。」

S：「巨人ファンではないけれども、今年の巨人はどうだろう。」

T：「今のチームでリーダーとなる人がいないうな感じだネ。今年は原辰徳選手⑧を一

墨手として外野からのコンバートを考えているが、守備の負担が打撃にでなければいいがと思っている。でも本来内野手（三塁手）出身だから一塁は十分こなせるだろうが・・・他には岡崎郁三墨手⑤にしろ、川相昌弘選手⑥にしろ、篠塚利夫二塁手⑦にしろあまり表面に出ない、おとなしい感じのする選手ばかりだから・・・原選手の外野守備はお粗末であったし、外野よりは一塁手の方が彼にはいい面が出れば面白いけど、いずれにしろ投手陣の良し悪しが今年のペナントを左右すると思う。」

T：「岩手県出身のプロ野球選手はどんな人がいるんだろう？」

S：「名の知れた人といえば、横浜大洋ホエールズの矢端光則投手⑧ぐらいで、彼は県内でも野球の盛んな二戸市福岡高校の出身で、最初ドラフト3位でロッテオリオンズ（現千葉ロッテマリーンズ）に入団し、その後ホエールズにトレードされた選手で、がっしりとした体躯（実弟は大相撲幕下力士）からホエールズ投手陣では貴重な先発、中継ぎとして一軍でも活躍している。中日ドラゴンズ二軍には盛岡工高出身の高橋幸二選手⑨、投手として入団したが内野手に転向した。また同じ中日二軍に盛岡工高出身加賀元投手⑩、阪神タイガースには盛岡市立高一鷲宮製作所出身の太田貴投手⑪、今シーズン阪神入団の専大北上高出身（1991年夏の甲子園出場、主将）の木立章成選手⑫、またパリーグでは一関商工・新日鉄釜石出身のダイエーホークスの高島覚投手（元⑬—今シーズン⑭）、彼は昨シーズン有力投手の少ないダイエーにあって中継ぎとして活躍した。今シーズンよりロッテオリオンズより千葉ロッテマリーンズと名称を変え、本拠地球場も川崎球場から千葉マリーンスタジアムに移転したこのチームには、盛岡商高・本田技研出身の猪久保吾一捕手⑮がい

る。憧れのプロ野球チームに入団し、地元に帰って地元登板とか地元での出場ができれば最高にうれしいことだろうなあと思う。」  
S：「今年のプロ野球も4月4日に開幕するが、お互いのファンチームが、セリーグで或いはパリーグでの優勝を勝ちとることを祈念し、また日本シリーズで対戦することを祈りましょう。」

というように話はまだまだつきないが、野球評論家気どりで岡田八目楽しいひとときを過ごしましたが、最近の若い人々でも段々野球、特にプロ野球に関心をもっている人が少なくなっていく中で、久々に選手の名前とか、ファンチームに詳しい人を見つけたという感じがしてその日一日すっきりした気分になりました。

※選手名あと丸括み数字はその選手の背番号をあらわす。

また野球に興味のない方にはつまらない話であることを御許し下さい。（H 4. 2. 21）



## 岩手郡医師会役員会

●日 時 平成4年3月18日（水）

PM 6 : 30

●場 所 岩手県医師会館 第2会議室

●出席者 高橋(牧)、佐藤、上田、高橋(孝)、根本、西島、及川、岡本、篠村、高橋(克)、八角、上原、嶋、坂井、佐々木

●議 題

1) 岩手県医師会各種委員会新委員の推薦について

2) 岩手郡医師会役員の職務分担について

3) 行事の予定について

4) その他

●岩手県医師会広報委員会 ○嶋、篠村、高橋(克)

医事紛争対策委員会 ○高橋(牧)

保険問題協議会 ○高橋(孝)、佐々木

健康教育委員会 ○岡本、上原

学校医部会 ○上原、佐々木

勤務医部会 ○佐藤(郁)、上田

産業医部会 ○八角、篠村

労災部会 ○篠村、高橋(克)

生涯教育委員会(学術部) ○上田、岡本

○印は県医師会委員

●岩手郡医師会総務・経理部 西島、及川

福利厚生部 坂井、八角

地域医療部(地域保健部) 及川、高橋(孝)

医師連盟 根本

●岩手県医師会理事 西島

裁定委員 近藤

代議員 根本、及川

予備代議員 佐々木、杉本

●岩県医国保組合会議員 和田

信用組合役員 秋浜

信用組合総代 近藤、秋浜、高橋(牧)、根本

●いわて医師協同組合役員理事 高橋(牧)

総代 嶋、高橋(孝)、八角、和田

●岩手県医療機関厚生年金

基金役員代議員 及川

## 編 集 後 記

・「暑さ寒さも彼岸まで……」とか、「これぞ春一番の大荒れ……」とか、「三寒四温……」とか、「立春が過ぎたとはいえたが寒気が身にしみる今日この頃……」とか、最近は気候に関する季節の変わり目を伝えることばが多く聞かれ、弥生三月に入っても温暖な日があったかと思うと、氷点下3°C~11°C(玉山村蔵川など)とかなり冷え込むときもあり、3月18日は午後~夕刻にかけて、湿ったドカ雪30~40センチ位が一面を被ってしまい、道路はぬかるみとなり、道行く人は車によるはねかえりを心配しながら歩かねばならず、折しも各地で卒業式シーズンでもあり、和服とか正装した人々も歩きながらも気兼ね

しなければならないときもある。

・今回行われた臨時総会では、例年2月に行う翌年度の予算案件の審議と任期満了に伴う役員の改選があり、新旧交代となった部門もあるが、会長、副会長など留任もあるため大巾な役員の若返りとはならず、役員ともども会員とも一致協力、団結してことに対処しなければならないと思う。

・「おらほの先生」に登場していただいた坂井医院の皆さんからのマンガチックなイラストはとてもすてきなものです。今後の参考にしていただければいいなあと思います。

(M. S記)